

(1) <入会勧誘文例>

以下は、会員増強のためのその年度の退職校園長先生方への勧誘例です。
入会勧誘依頼に当たっては、具体的草案が次々とチームの会合の度に出来上がりました。
以下、その例を示します。

退職された校園長先生方へ

令和〇年〇月〇日

入会のお誘い

東京都退職校長会会長 多田丈夫
同 4 2 支部長 一同
同 プロジェクト・チーム 一同

東京都教育委員会が60歳定年退職直後の再任用制度を発足させてから、定年退職後も引き続き、責任ある校園長職に就いておられる校園長先生方が多くおられます。

65歳までといっても、再任用だけで65歳まで勤め上げる方は少ないようですが、その他の貴重な職務を含めた永年にわたるご労苦に対し、衷心より敬意を表します。

このようななか、最近、本会への入会者の急激な減少が続いております。主な原因は、再任用制度の導入以外に、貴職へのこれまでの連携不足・情報不足がありました。そのために、退職後の唯一無二の組織である「東京都退職校長会の存在」そのものを存じ上げない校園長先生方が多くおられました。都においては、地縁・血縁・結縁の薄さということもありません。

そこで、本会では、魅力創りに向け規約改正に着手したのです。

一つには、現職校長の内に、本会の準会員になれる。二つには、入会したい支部は、勤務した学校・園の地域（勤務地）の支部か又は先生のお住まいになっておられる地域（居住地）のどちらかを選べます（選択制）。三つには、他支部での活動や行事に参加することも可能になりました。四つには、他支部での活動に関わって、「会員の呼称」名について着手しているところです。

やはり、人間はいつまでも一人では生きていけない。強がりも言っても、いつかはどこかで人様のお世話にならないとも限らない。人生百年時代を迎えた今、退職後の長い人生を送るには、友が欲しくなり、仲間が欲しくなるものです。語り合う同志とともに親睦や互助の中に身をおき、生涯学習を突き進み、ボランティア活動にもいそしむ、そんな人生の後半を仲間と意義あるものに築き上げられたら素晴らしいのではないのでしょうか！

私たちは、あなたのご入会を心からお待ち申し上げます。